

令和4年第1回竹原市議会臨時会会議録

令和4年第1回竹原市議会臨時会日程

日 程	議案番号	件 名
日程第 1		議席の指定及び変更について
日程第 2		会議録署名議員の指名について
日程第 3		会期の決定について
日程第 4		諸般の報告 竹原市議会常任委員会委員の選任について
日程第 5		所信表明
日程第 6	報告第 1号	令和3年度竹原市一般会計予算の補正について
日程第 7	議案第 1号	竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて
日程第 8	議案第 2号	竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて
日程第 9	議案第 3号	令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）

令和4年第1回竹原市議会臨時会議事日程 第1号

令和4年1月27日(木) 午前10時03分開会

会議に付した事件

日程第 1 議席の指定及び変更について

日程第 2 会議録署名議員の指名について

日程第 3 会期の決定について

日程第 4 諸般の報告

竹原市議会常任委員会委員の選任について

日程第 5 所信表明

日程第 6 報告第 1号 令和3年度竹原市一般会計予算の補正について

日程第 7 議案第 1号 竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて

日程第 8 議案第 2号 竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて

日程第 9 議案第 3号 令和3年度竹原市一般会計補正予算(第12号)

追加日程第1 議案第 3号 令和3年度竹原市一般会計補正予算(第12号)(総務文教委員会)

令和4年1月27日開会

(令和4年1月27日)

議席順	氏 名	出 欠
1	金 森 保 尚	出 席
2	下 垣 内 和 春	出 席
3	今 田 佳 男	出 席
4	竹 橋 和 彦	出 席
5	山 元 経 穂	出 席
6	堀 越 賢 二	出 席
7	川 本 円	出 席
8	井 上 美 津 子	出 席
9	大 川 弘 雄	出 席
10	道 法 知 江	出 席
11	宮 原 忠 行	出 席
12	吉 田 基	出 席
13	宇 野 武 則	出 席
14	松 本 進	出 席

職務のため議場に参加した者は、下記のとおりである

議会事務局長 笹原章弘

議会事務局係長 矢口尚士

説明のため議場に参加した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名	出 欠
市 長	今 榮 敏 彦	出 席
副 市 長	新 谷 昭 夫	出 席
教 育 長	高 田 英 弘	出 席
総 務 企 画 部 長	平 田 康 宏	出 席
市 民 福 祉 部 長	塚 原 一 俊	出 席
建 設 部 長	梶 村 隆 穂	出 席
教育委員会教育次長	沖 本 太	出 席
公 営 企 業 部 長	大 田 哲 也	出 席

午前10時03分 開会

議長（大川弘雄君） おはようございます。

ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、これより令和4年第1回竹原市議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

議案の説明員として市長、教育長並びに市長から説明の委任または囑託を受けた者の出席を地方自治法第121条の規定により求めておりますので、報告いたします。

以上で議長からの報告を終わります。

これより日程に入ります。

日程第1

議長（大川弘雄君） 日程第1、議席の指定及び変更についてを議題といたします。

令和3年12月19日執行の竹原市議会議員補欠選挙において金森保尚議員が御当選になりましたことに伴い、議席の指定及び変更をいたしたいと思っております。

お諮りいたします。

会議規則第4条第2項の規定により、金森保尚議員は議席番号1番に指定し、またこの議席の指定に関連し会議規則第4条第3項の規定により、議席の変更をただいま御着席のとおりといたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま御着席のとおり議席の指定及び変更をすることに決定いたしました。

議事の都合により、このまま暫時休憩いたします。

午前10時05分 休憩

午前10時05分 再開

議長（大川弘雄君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

日程第2

議長（大川弘雄君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において7番川本円議員、1

4番松本進議員を指名いたします。

日程第3

議長（大川弘雄君） 日程第3，会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は，本日1日間といたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって，会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第4

議長（大川弘雄君） 日程第4，諸般の報告を行います。

報告案件は1件であります。

竹原市議会常任委員会委員の選任について，議員辞職に伴い欠員となっておりました竹原市議会総務文教常任委員会委員に金森保尚議員を委員会条例第8条第4項の規定により，令和3年12月20日，議長において選任いたしましたので報告いたします。

以上をもって諸般の報告を終わります。

日程第5

議長（大川弘雄君） 日程第5，所信表明。

市長から所信表明の申出がありましたので，これを許可します。

市長。

市長（今榮敏彦君） 皆さん，おはようございます。

令和4年第1回竹原市議会臨時会の冒頭におきまして市政に対する私の所信を表明する機会をいただきましたので，その一端を申し述べ，議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

私は，去る12月19日に執行されました竹原市長選挙におきまして，市民や各団体の皆様から温かくそして力強い御支援をいただき，引き続き2期目4年間の市政運営を担わせていただくこととなりました。市長に課せられた使命と責任の重さに身の引き締まる思

いでありますが、初心を忘れることなく議員各位をはじめ市民の皆様の声を謙虚にお聞きしながら、本市の住みやすさ、暮らしやすさに磨きをかけ、総合計画に掲げる将来都市像「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に邁進をしておりますので、何とぞ御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

それでは初めに、本市の当面する重要課題への対応について申し述べさせていただきます。

まず、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興につきましては、市民や関係者の皆様と共に一丸となって取り組んできた結果、計画に位置づけた事業の進捗により復旧・復興が見えてきておりますが、確実にこれを成し遂げ被災前よりも元気な竹原市を実現させるとともに、昨年夏の大雨災害でも生じた浸水への対策につきましても、国・県と連携しながらスピード感を持って取り組むことにより、今後の大規模災害への備えの強化を図り、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症に対する取組につきましては、デルタ株から感染力が強い変異種オミクロン株に置き換わりが進み、先月末から本市を含めた県内で感染が急拡大していることから、今月には県内全域にまん延防止等重点措置が適用されることとなり、懸念されていた第6波が到来しております。本市では、こうした危機的な状況の到来に備え、感染対策として竹原地区医師会等と連携しながら3回目のワクチン接種を進めておりますが、引き続き医療機関や介護施設などとの連携により、市民の命と健康を守る必要な対策を講じてまいります。

また、経済的影響を受けている方々に向けて、昨年末に支給済みの子育て世帯に対する臨時特別給付金や本臨時会で補正予算案として上程している住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給に加え、県や竹原商工会議所と連携し、引き続き市内の事業者支援や消費喚起などの地域経済を支える取組も進めてまいります。

さらに、庁舎移転問題につきましては、さきの定例会で庁舎整備に向けた設計関連経費の補正予算を可決いただき、現在設計業務の発注に向けた準備を行っているところであります。引き続き、県や竹原商工会議所との協議を継続しながら、可能な限り早期に庁舎移転を実現できるよう取組を加速させていくとともに、庁舎跡地の公共施設や芸術文化施設などの公共施設ゾーン等の整備促進に向けた取組も進めてまいります。

このほか、昨年度決算において一定の成果が出てきている財政健全化計画につきましても引き続き気を緩めることなく取組を推進しながら、弾力的かつ収支が均衡した持続可能

な財政構造を確立するとともに、デジタル社会への着実な対応のため行政や地域社会におけるデジタルトランスフォーメーションの取組を推進し、行政事務の効率化や市民の利便性の向上を図ってまいります。

続いて、私が1期目から取り組み、このたびの市長選挙でも市民の皆様にご訴えてまいりました、今後4年間の市政運営の基本的考え方である活かすまちづくりについて御説明申し上げます。

現在、本市は本格的な少子高齢化と人口減少に直面しており、これらがさらに進行することにより生産年齢人口の減少による地域活力の低下、コミュニティの衰退、公共経営のダウンサイジングなどの社会経済環境の変化が見込まれることから、これまでも本市の財産を生かした町の個性や魅力の創出に取り組んできておりますが、今後はアフターコロナを見据えながらこれらをさらにブラッシュアップするとともに、町に眠るポテンシャルのある地域資源も掘り起こし共有、活用していくことにより観光振興や産業の活性化を図り、交流人口や関係人口の増加などにつなげていくことが必要と考えており、これらの実現に向けた4つの活かすまちづくりを進めてまいります。

まず1点目は、人を活かすまちづくりであります。

本市には、これまで多様な人生経験をされてきた高齢者のほか、時代の変化を敏感に捉えて対応することができる若者世代、さらには各方面でいきいきと活躍される女性が多数おられることから、こうした方々の知恵、発想力、行動力を結集させるとともに、たけはらファンクラブの会員をはじめとした本市を応援していただいている方々とも連携しながら、これらを生かしたにぎわいや活力を創出するまちづくりを推進してまいります。

2点目は、地域を活かすまちづくりであります。

本市には、瀬戸内の恵み豊かな自然環境や広島空港、山陽新幹線、山陽自動車道といった高速交通体系に近接する地理的利点があるほか、町並み保存地区及び大久野島に代表される内外に誇れる観光資源、さらには本市の強みであるお互いの顔が見えるコミュニティや住民同士の固い絆といったかけがえのない地域資源もあることから、これらを生かしたプロモーションを積極的に展開し、大都市圏などからの呼び込みを図り、企業誘致や観光交流、さらには移住・定住の促進につなげてまいります。

3点目は、歴史・文化を活かすまちづくりであります。

本市には、先人の努力により保存、継承されてきた歴史的建造物や数々の貴重な文化財をはじめ、竹原の礎を築いた塩田、酒造業の伝統、地域における独自の祭りなどによって

形成されてきた歴史的風致などを背景として、頼家3兄弟、池田勇人、竹鶴政孝や文化勲章受章者である今井政之氏などの優れた人材を輩出してきた歴史と文化を有しており、これらを生かした竹原らしさを感じるまちづくりを進め、その魅力を発信しながら観光業や地場産業の振興を図ってまいります。

4点目は、市民の声を活かすまちづくりであります。

近年多発している大規模災害や新型コロナウイルス感染拡大の局面などにおきまして市民の皆様から不安や心配の声が多数寄せられておりますが、こうした緊急事態下においても市民の声に耳を傾け、きめ細やかな対応が図られるよう体制を構築するとともに、平常時においても市民の皆様からの貴重な御意見を踏まえ、適宜市政運営の検証や改善を行いながら、より安全・安心なまちづくりを推進してまいります。

次に、こうした市政運営の基本的考え方にに基づきながら、今後実施してまいります主な施策の方向性を4つの柱に沿って御説明いたします。

1点目は、竹原らしさを感じるまちづくりによる活力、賑わいの創出であります。

本市の自然、歴史文化、景観等の魅力を内外に積極的に発信することで認知度を高め、交流人口や関係人口の拡大を図るプロモーションを引き続き積極的に展開していくとともに、本市とゆかりのある自治体等との連携、交流により相互の資源を有効に活用した地域の活力、にぎわいを創出する取組などのほか、これらの情報発信の強化や受入れ環境体制づくりを拡充しながら、関係人口や移住・定住人口の拡大に向けた総合的な取組を推進してまいります。

また、アフターコロナを見据えながら、新たに事業連携を一層強化するためのかじ取り役となる観光地域づくり法人の設立にも取り組み、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する視点に立ち、商工会議所や観光協会をはじめとする多様な地域関係者と協働しながら、官民一体となった観光地域づくりを推進してまいります。

2点目は、元気な産業の育成と福祉の充実による誰もが輝く社会の構築であります。

本市の農林水産業は、生産者の高齢化と減少により担い手不足が生じていることから、新たな担い手を確保することができるような取組を進めるとともに、農産物、水産物加工ラインを持つ郷土産業振興館などを生かしながら、6次産業化と流通販売の促進を支援してまいります。

また、本市の産業を活性化し、これを支える人材を確保、育成し定着させるため、起業家育成プログラムに取り組む事業者との連携やサテライトオフィスなどの誘致を進めてい

くほか、引き続き就職ガイダンスの開催などによる雇用のマッチングに努めながら、若者や女性など多様な人材が生きがいを持って働きやすい環境を整備し、活気に満ちたまちづくりの推進につなげてまいります。

さらに、地域住民の多様なニーズや生活課題に対応し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域社会を実現するため、地域住民、関係機関、行政との協働により地域における支え合いを推進する重層的支援体制の整備などにも引き続き取り組み、誰もがいきいきと輝き優しさがあふれるまちづくりを推進してまいります。

3点目は、子育て支援の充実、学びの場の提供による人材育成であります。

結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援を行っていくため、婚姻に伴う経済的負担の軽減、市内医療機関での妊婦健康診査の実施、妊産婦や乳幼児の保護者などの生活、子育てをサポートするたけはらっこネウボラの取組を強化していくとともに、子供たちが夢の実現に向けて挑戦できる環境を整備するため、コミュニティ・スクールの推進やグローバル化に対応できる未来の人材育成などを進めていくほか、小中学校施設の充実にも取り組んでまいります。

また、大学等と連携するなど多彩な学びの場を幅広い年齢層に提供することにより、生涯学習の機会の充実を図り、学びの成果を地域社会やまちづくりなどに還元できる人材も育成し、地域力の強化に努めてまいります。

4点目は、生活基盤の整備と生活環境の確保による安全・安心で快適なまちづくりであります。

平成30年7月豪雨災害及び昨年夏の大雨災害からの一日も早い復旧・復興を図るとともに、集中豪雨や大規模地震が発生しても機能不全に陥らない、強さとしなやかさを持った災害に強いまちづくりを推進するため、国・県と連携しながら道路・河川などの防災・減災対策を強化していくほか、通学路の安全性向上や生活道路の機能向上などにも取り組み、市民の安全・安心が築かれた社会を構築してまいります。

また、人口減少等に伴う給水収益の減少を踏まえた水道事業の経営・運営基盤の強化や大規模地震などの緊急時に備えた管路、施設の耐震化を進める必要があることから、県と市町による水道事業の広域化を検討しながら、将来にわたって持続可能で安全・安心な給水体制を確保してまいります。

以上、今後4年間の市政運営の基本的な考え方と主な施策の方向性について申し述べさせていただきますが、歴代市長をはじめ議員各位や市民、各団体の皆様が一体となって

築き上げてこられた私たちのふるさと竹原の豊かな自然、美しい景観、有形無形の伝統文化や歴史資産などを次世代に守り伝えていくとともに、目まぐるしく進展する社会経済の変化から生じる諸課題にも的確に対応しながら、誰もが住みよさや誇らしさが実感できる元気な竹原市としてさらに前進させていくことをここにお誓い申し上げまして、私の所信表明といたします。どうぞ今後もよろしく願いいたします。

議長（大川弘雄君） これをもって所信表明を終結いたします。

日程第6

議長（大川弘雄君） 日程第6，報告第1号令和3年度竹原市一般会計予算の補正についてを議題といたします。

提案者の報告を求めます。

総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） ただいま議題となりました報告第1号につきまして御説明申し上げます。

議案説明書の12ページをお開きください。

報告第1号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第11号）について、その概要を御説明申し上げます。

本報告は、新型コロナウイルス対策事業を早急に実施する必要性が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1項の規定により、令和3年12月17日に専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により議会の承認をお願いするものであります。

補正の内容といたしましては、まず歳出であります。民生費において子育て世帯臨時特別給付金給付に要する経費として、子育て世帯臨時特別給付金など1億3,634万4,000円を追加計上しております。

これに対し、歳入であります。歳出に係る特定財源として国庫支出金1億3,634万4,000円を追加計上しております。

以上により、歳入歳出それぞれ1億3,634万4,000円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ143億9,197万円となるものであります。どうぞよろしく願いいたします。

議長（大川弘雄君） 報告が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

本件は、報告承認案件のため、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、本件は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論、採決いたします。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は報告のとおり承認することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 確定いたしましたので、着席を願います。

採決の結果、起立全員であります。よって、本案は報告のとおり承認されました。

日程第7

議長（大川弘雄君） 日程第7、議案第1号竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） ただいま議題となりました議案第1号につきまして御説明申し上げます。

議案説明書の13ページをお開きください。

議案第1号竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて御説明申し上げます。

本案は、竹原市教育委員会委員のうち、市川義隆委員が令和4年1月30日をもって任

期満了となりますので、その後任委員として有田志穂氏を任命いたしたいと考え、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求めるものであります。

有田氏は、平成26年4月から4年間吉名中学校PTA会長を務められた一方で、平成28年4月からは学校薬剤師として、また吉名町協働のまちづくりネットワーク地域交流部会の部長を務められるなど、学校及び地域振興においても御尽力いただいております。人格高潔にして、学校教育に関し深い識見を有されており、教育委員会委員として適任であると考えます。どうぞよろしく願いいたします。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

本件は、人事案件のため会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論、採決いたします。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり同意することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 確定いたしましたので、着席を願います。

採決の結果、起立全員であります。よって、本案は原案のとおり同意されました。

日程第8

議長（大川弘雄君） 日程第8、議案第2号竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同

意を求めることについてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） ただいま議題となりました議案第2号につきまして御説明申し上げます。

議案説明書の14ページをお開きください。

議案第2号竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて御説明申し上げます。

本案は、竹原市公平委員会委員のうち、小田原堤治委員が令和4年1月30日をもって任期満了となりますので、その後任委員として住吉正和氏を選任いたしたいと考え、地方公務員法第9条の2第2項の規定により議会の同意を求めるものであります。

公平委員は、3名の委員により構成され、職員の勤務条件に関する措置の要求を審査し、判定し、必要な措置を取ることなどを主な任務としております。

住吉氏は平成18年に三井金属鉱業株式会社竹原製煉所に入所され、同所労働組合執行委員を務めておられ、人事行政等に深い識見を有されており、公平委員会委員として適任であると考えます。どうぞよろしく願いいたします。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

本件は、人事案件のため会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論、採決いたします。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり同意することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

議長（大川弘雄君） 確定いたしましたので、着席を願います。

採決の結果、起立全員であります。よって、本案は原案のとおり同意することに決しました。

日程第9

議長（大川弘雄君） 日程第9，議案第3号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） ただいま議題となりました議案第3号につきまして御説明申し上げます。

議案説明書の15ページをお開きください。

議案第3号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）について、その概要を御説明申し上げます。

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策のための事業について予算計上するものであります。

まず、歳出であります。民生費において非課税世帯等臨時特別給付金給付に要する経費として非課税世帯臨時特別給付金など4億2,081万円を追加計上しております。

これに対し、歳入であります。歳出に係る特定財源として国庫支出金4億2,081万円を追加計上しております。

以上により、歳入歳出それぞれ4億2,081万円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ148億1,278万円とするものであります。

次に、繰越明許費について御説明いたします。

民生費において、非課税世帯等臨時特別給付金事業について年度内に事業完了が見込めないため繰り越すものであります。どうぞよろしく願いいたします。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第3号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）を総務文教常任委員会に付託いたします。

この後直ちに総務文教常任委員会を開催し、審査終了後本会議を再開いたします。

その間暫時休憩といたします。

午前10時34分 休憩

午前11時07分 再開

議長（大川弘雄君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

本会議の休憩中、総務文教常任委員会が開催され、付託案件の審査が終了したことから、先ほど議長に委員会報告書が提出されました。

お諮りいたします。

付託案件でありました議案第3号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）を日程に追加、議題といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、付託案件でありました議案第3号を日程に追加、議題とすることに決定いたしました。

追加日程第1

議長（大川弘雄君） 追加日程第1、議案第3号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）、本案は、総務文教常任委員会に付託となっていたものであります。よって、委員長報告を求めます。

3番今田佳男総務文教常任委員会委員長。

総務文教常任委員会委員長（今田佳男君） それでは、委員長報告をさせていただきます。

総務文教委員会には、議案第3号令和3年度竹原市一般会計補正予算（第12号）が付託されました。内容は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付に要する経費4億2,081万円であります。審査の結果、全会一致で可決となりました。

以上で委員長報告を終わります。

議長（大川弘雄君） 報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑の発言を許します。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論，採決いたします。

本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 確定いたしましたので，着席を願います。

採決の結果，起立全員であります。よって，本案は原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

議決されました各案件につきましては，その条項，字句，数字，その他の整理を要するものにつきましては，その整理を議長に御一任願いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって，そのように決定いたしました。

以上をもって今期臨時会に付議された案件は全て議了いたしました。これをもって令和4年第1回竹原市議会臨時会を閉会いたします。

午前11時11分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

竹原市議会議長

竹原市議会議員

竹原市議会議員